研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

下肢切断後のリハビリテーションと ADL・退院支援に関する検討

―透析患者、非透析患者での比較検討―

研究期間：承認日　～　2024 年 12 月

対象材料：

□病理材料（対象臓器名：　　）

□生検材料（対象臓器名　　）

□血液材料

□遊離細胞

■その他（診療録の情報　　）

上記材料の採取期間：　西暦 2016 年 4 月　～　2024 年 3 月

意義：

本研究によって切断患者のリハビリテーション状況や切断後の ADL の状況、さらには透析患者において、切断後の生活状況や自宅退院に至るまでの支援に関する内容が明らかになる事で、今後当院で下肢大切断に至った場合に、患者に対して今後のリハビリテーションや ADL の見通しについて客観的に説明する事が可能となり、診療の質の向上につながる可能性がある。

目的：

下肢切断患者を透析の有無で比較し、リハビリテーション経過や ADL 状況、退院支援に関連した情報をまとめる。

方法：

電子カルテおよび診療・治療上の検査・測定、問診によって得られた研究対象者の下記各種データを収集し、データ登録を行う。

①基本情報：年齢、性別、身長、体重、Body Mass Index（以下 BMI）

②医学的情報：診断名、既往歴、切断原因、手術名、血液検査データ、義足の有無、創トラブルの有無、透析の有無、在院日数、転帰

③リハビリテーション情報：リハビリテーション進行状況、入院時、退院時 BI

【研究対象者の選定方針】

①選択基準

・当院に入院し理学療法の処方があり、最終的に下肢の大切断に至った患者

個人情報の取り扱い：

個人情報に関しては集計データを連結不可能匿名化し、個人が特定されない配慮を行う。関連学会に発表する場合があるが、その際も個人が特定される事はない。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒７５０－８５２０

山口県下関市向洋町一丁目１３番１号

下関市立市民病院　リハビリテーション部　理学療法士　水野　博彰

TEL　０８３－２３１－４１１１　　FAX　０８３－２２４－３８３８